

想

「新年度スタート！」

町長 三浦正隆

いよいよ平成30年度がスタートしました。毎年この時期に感ずるのは新しい年に対する期待感と高揚感、そして緊張感です。是非とも三種町発展の年にしたいものです。

今年の当初予算は骨格予算と言われるもので、本格的には6月の補正予算で組まれますが、若者関連の新規事業が2つありますのでご紹介します。



1つ目は「若者活動支援事業」

です。今、三種町内では5月のこの日の日にちなんだイベントを実施している団体、スケートボードの愛好団体、夏のキャンプや冬のスキー・スノーモービルなど子供たちにアウトドアスポーツの楽しさを体験させる団体、三種町の良さを町外に継続的に情報発信している団体など若い人たちの活動が盛んです。

次代を担う若者がまちづくりに参画できるように、アイデアや実行力を発揮できる上限50万円の補助事業を新設します。

2つ目は「結婚祝金事業」です。本町において結婚される方々を対象に、額は10万円分の商品券とする方向で担当課において要綱の整備を図っています。

これに加えて、今、考えていることですが、若者の定住人口を増やすため「若者定住促進住宅取得補助事業」（仮称 上限150万円）を実施したいと考えています。

なぜこれ考えたかと言います

と、古くなった町営住宅の建替えを促進することはもちろん必要でありますが、実は町営住宅1棟あたりの建築費が約1600万円、その他に設計費が約250万円、合計で1棟あたり約1850万円かかっています。ところが、町営住宅は公営住宅法により家賃は入居される世帯の所得によって金額が定められており、夫婦共稼ぎで世帯所得が高い場合には相当に高い家賃となってしまうます。却って自分で家を建ててしまった方が得な場合もあります。

仮にこの新しい事業によりこれから新築したいという若い世帯への助成額を上限150万円としても町営住宅の1棟分で12戸建つわけでありますから、助成効果は大きいと考えています。若い人たちが住宅取得をしやすくなるような環境整備をしたいと考えています。

もう一つ、小さいお子さんをお持ちのお母さんから要望の多いの

が雨や雪の日でも屋内で子どもを遊ばせることができるような施設です。エナジウムパークやポンポコ山、遠くは御所野のイオンまでいかれる方も多いようです。屋内で各年齢に対応した遊具を備えた「子どもの広場」（仮称）を開設し、育児相談などもできるようにしたいと思います。

今、自治体を変える鍵は地域にあります。町民の皆様の叡智とエネルギーを町政に反映させたいと思います。まちをあきらめない町民の皆様の「心意気」が、まちを変えるのだと思います。今月もどうかくれぐれも健康でお元気にお過ごし下さい。